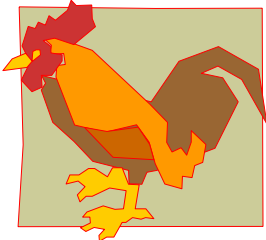




のぞみ 希 望

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/> TEL771-0649



新年 あけまして おめでとう ございます

学校長 村上 裕子

平成29年(2017年)、酉年!! 新しい年を迎えました。保護者、地域の皆様におかれましては、よいお年をお迎えのことと存じます。昨年中は、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も教職員一同、子どもたちの健やかな成長を願って、努力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

冬休みに入る前に子どもたちに「安全に」「健康に」「楽しく」冬休みを過ごしてほしいと3つの願いを話しました。ちょっと長い冬休みでしたが、各々が3つのことを意識しながら過ごすことができたならばうれしく思います。

さて、年頭にあたり、子どもたちはきちんとあいさつをして、快いスタートがきれたでしょうか。社会ではそれぞれの節目にはあいさつをします。あいさつは人間関係を円滑にする上で大変重要なことだと考えています。人と人が何かの目的で顔を合わせたときにその場ですぐに本題に入るとはきわめて少ないです。まず相手の姿を確認し、言葉や身振り、手振りで自分の存在を知らせます。そして近づき、あいさつを交わしてから本題の話を始めます。あいさつは、コミュニケーションをとるための一つの手段として、人が人とかわりながら生きていくためには欠かすことはできません。

本校の子どもたちは気持ちよくあいさつができる子が多くいますが、まったくあいさつをしない子も中には見かけます。その子もお家の中でのあいさつは時に応じてできていることでしょう。しかし、これから広く社会に出て行く子どもたちにとって、家族だけのあいさつにとどまらず、友達やお世話になっている地域の皆様、知り合いの方々、教職員にも折々にあいさつができる子に育ててほしいと思っています。

あいさつは自然に見えて、意外に気を使うことがあります。顔見知り程度だとつい目をそらしてしまったり、おしゃべりをして気がつかないふりをしたり、相手からあいさつされるのを待っていたりと様々です。ようやく小さな声であいさつをしても、相手に聞こえず、あいさつを返してもらえなくて無視されたと誤解をまねくこともあります。校門に立っていても、寝不足でだるそうな子どもは登校するだけが精一杯で、あいさつをすることさえ面倒くさそうです。そのような子の姿を見ると心配になります。

あいさつができるように、学校でも継続して指導を続けますが、ご家庭でも誰に、どんなふうにあいさつをしているのか、あいさつはどのようにして大切なのかをぜひ話題にしてくださいとありがたいです。教職員もすすんであいさつを心がけます。自分からすすんであいさつができる習慣を身につけ、気持ちのよい生活がおくれるようにしていきたいです。

お
あ
し
す

おはようございます
ありがとうございます
しつれいします
すみません

あ
い
さ
つ

あかるく
いつも
さわやかに
つづけて